



# わたしの「変革」の物語を書いてみよう

Tsuda Vision 2030  
Empowering Women  
to Make a Difference

「変革を担う、女性であること」。

本学が2030年に向けて掲げるこのモットーは、創立者・津田梅子の建学の精神に基づいています。津田梅子は6歳で米国に派遣された初の官費女子留学生でした。いまと違って、横浜港を出発しワシントンに着くまで、船と大陸横断鉄道でおよそ2か月半もかかる大変な移動でした。しかも、「イエス」「ノー」「サンキュー」といった限られた英語の知識だけで、米国人のホストファミリーに預けられ、そのまま11年の留学生生活を送ったのです。

帰国後、梅子は日本の女性の地位の低さに非常に落胆し、日本の女性たちにも高等教育を授け、その教育を生かして女性にも社会で活躍してほしい、と切実に願うようになりました。「第一級の教師」を目指し、再度米国に留学。当時「女性には向かない」とされていた生物学にも挑戦します。さらに、後進の日本女性たちが米国の大学で学べるよう、奨学金制度もつくりました。その後も変革を担う覚悟と使命をもち続け、ついに1900年、津田塾大学の前身、「女子英学塾」を創設したのです。日本の女子教育の先駆者であった津田梅子は、こうした功績により、いまみなさんが手にする5千円札の肖像にも選ばれたのでした。

さて、変革といっても、さまざまなレベルがあるでしょう。梅子のように、社会を動かすような大きな変革もあれば、日常生活の中のちょっとした変革もある。一人で挑戦する変革もあれば、仲間と力を合わせて取り組む変革もあります。何十年とかかる変革、一夜で変わる変革もある。女性、男性、年齢や立場にかかわらず、変革を起こすことは可能です。

高校生のみなさんには、どんな変革がありますか。これから変革したいこと、挑んでみたいことなどはありませんか。

みなさんの、あるいはみなさんの周りの「変革」について、自由にエッセーを書いてください。

## 募集要項

### 【募集内容】

「変革について」をテーマにエッセーを書いてください。英語の場合は400words程度、日本語の場合は1000～1200字程度。エッセーにはテーマとは別に独自のタイトルもつけてください。なお、生成系AI（人工知能）を使用した作品は対象外とします。

### 【応募資格】

高校生（国籍・学年・性別・居住地は問いません）

### 【応募方法】

所定のGoogleフォームにエッセーを記載して応募（郵送・持ち込みは不可）。

### Googleフォーム

<https://forms.gle/XqjwGAv55nhNVkoc7>

※Googleフォームは下書き保存ができません。Wordファイル等に下書きを作成してから所定のGoogleフォームにコピー・アンド・ペーストしてください。



### 【応募期間】

2026年8月3日（月）～9月1日（火）12:00受付締め切り

### 【表彰】

最優秀賞1名（賞状及び副賞5万円を贈呈）

優秀賞若干名（賞状及び副賞1万円を贈呈）

受賞者は、年内に津田塾大学Webサイトで公表します。最優秀作品は2026年度内に津田塾大学において表彰し、津田塾大学広報誌「Tsuda Today」と津田塾大学Webサイトに、優秀作品は津田塾大学Webサイトに掲載・公表します。なお、応募作品の著作権はすべて津田塾大学に帰属します。

### 【問い合わせ】

津田塾大学ライティングセンター 高校生エッセー・コンテスト事務局

（TEL：042-342-5142 E-mail：essaycon@tsuda.ac.jp）

<https://www.tsuda.ac.jp/aboutus/essay/index.html>